

第 1 号議案

久留米市教育職員表彰懲戒諮問委員会委員の任命又は委嘱について

上記の議案を提出する。

平成 29 年 1 月 24 日

教育長 堤 正則

提案理由

久留米市教育職員表彰懲戒諮問委員会委員の任期満了に伴い、後任の委員を任命又は委嘱しようとするものである。

久留米市教育職員表彰懲戒諮問委員会委員の任命又は委嘱について

久留米市教育職員表彰懲戒諮問委員会規程第4条及び第5条により、下記の者を久留米市教育職員表彰懲戒諮問委員会委員に任命又は委嘱する。

記

区 分	氏 名	所 属	任 期
学識経験者	たずみ かずや 田住 和也	久留米市議会（議員）	平成29年2月1日 ～ 平成31年1月31日
	もりさき まさき 森崎 巨樹	久留米市議会（議員）	
	てしま のりこ 手島 典子	久留米市小・中学校PTA連合協議会 （母親委員長）	
	しまざき れいこ ☆島崎 玲子	久留米商業高等学校父母教師会 （副会長）	
教育職員	☆ひぐち けいこ 樋口 恵子	久留米市立鳥飼小学校（校長）	
	☆あらまき たつや 荒巻 達也	久留米市立城南中学校（校長）	
	きたじま まゆみ 北島 真弓	福岡県教職員組合久留米支部 （副支部長）	

久留米市教育職員表彰懲戒諮問委員会委員新旧対照表

区分	旧名簿		新名簿	
	氏名	所属(役職)	氏名	所属(役職)
学識経験者	◎たずみ かずや 田住 和也	久留米市議会(議員)	◎たずみ かずや 田住 和也	久留米市議会(議員)
	もりさき まさき 森崎 巨樹	久留米市議会(議員)	もりさき まさき 森崎 巨樹	久留米市議会(議員)
	てしま のりこ 手島 典子	久留米市小学校父母教師会連合会 (母親委員)	てしま のりこ 手島 典子	久留米市小・中学校PTA連合協議会 (母親委員長)
	かるとべ みか 加留部 美香	南筑高等学校PTA(副会長)	☆しまざき れいこ 島崎 玲子	久留米商業高等学校父母教師会 (副会長)
教育職員	いけまつ やすこ 池松 康子	久留米市立城島小学校(校長)	☆ひぐち けいこ 樋口 恵子	久留米市立鳥飼小学校(校長)
	ごんどう ひろふみ 権藤 博文	久留米市立諏訪中学校(校長)	☆あらまき たつや 荒巻 達也	久留米市立城南中学校(校長)
	きたじま まゆみ 北島 真弓	福岡県教職員組合久留米支部 (副支部長)	きたじま まゆみ 北島 真弓	福岡県教職員組合久留米支部 (副支部長)

◎は委員長 ☆は新任委員

○久留米市教育職員表彰懲戒諮問委員会規程（抜粋）

（所管事務）

第2条 委員会は、久留米市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ教育職員の表彰および懲戒に関する事項について調査審議し、およびこれらのことについて教育委員会に意見を具申する。

（組織）

第3条 委員会は、委員7人をもって組織する。

（昭44教規程4・一部改正）

（委員）

第4条 委員会の委員は、教育職員のうちから3人、学識経験者のうちから4人を教育委員会が任命または委嘱する。

2 教育委員会は、必要に応じ臨時委員を任命または委嘱することができる。

（昭43教規程1・一部改正）

（委員の任期）

第5条 委員の任期は2年とする。ただし、補充の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 臨時委員の任期は教育委員会が任命または委嘱する期間とする。

## 第 2 号 議 案

久留米市社会教育委員の委嘱について

上記の議案を提出する。

平成 2 9 年 1 月 2 4 日

教育長 堤 正則

### 提案理由

久留米市社会教育委員の任期満了に伴い、後任の委員を委嘱しようとするものである。

## 久留米市社会教育委員の委嘱について

社会教育法第15条第2項により、下記の者を久留米市社会教育委員に委嘱する。

### 記

区 分	氏 名	所 属	任 期
家庭教育関係者	稲益 英子	久留米市民生委員 児童委員協議会	平成29年2月1日から 平成31年1月31日まで

## 久留米市社会教育委員新旧対照表

区 分	旧名簿		新名簿 (H29.2.1～)	
	氏 名	所 属	氏 名	所 属
学校教育関係者	樋口 恵子 <small>ひぐち けいこ</small>	久留米市小学校長会	樋口 恵子 <small>ひぐち けいこ</small>	久留米市小学校長会
社会教育関係者	寺崎 眞 <small>てらさき まこと</small>	久留米市校区まちづくり連絡協議会	寺崎 眞 <small>てらさき まこと</small>	久留米市校区まちづくり連絡協議会
	田中 幹雄 <small>たなか みきお</small>	久留米市子ども会連合会	田中 幹雄 <small>たなか みきお</small>	久留米市子ども会連合会
	池田 博子 <small>いけだ ひろこ</small>	久留米市女性の会 婦人会連絡協議会	池田 博子 <small>いけだ ひろこ</small>	久留米市女性の会 婦人会連絡協議会
	富田 あやか <small>とみた あやか</small>	久留米市小中学校 父母教師会連合会	富田 あやか <small>とみた あやか</small>	久留米市小中学校 父母教師会連合会
	伊藤 正博 <small>いとう まさひろ</small>	久留米市体育協会	伊藤 正博 <small>いとう まさひろ</small>	久留米市体育協会
家庭教育関係者	欠 員	久留米市民生委員 児童委員協議会	※稲益 英子 <small>いなます ひでこ</small>	久留米市民生委員 児童委員協議会
学識経験者	秋永 峰子 <small>あきなが みねこ</small>	久留米市議会議員	秋永 峰子 <small>あきなが みねこ</small>	久留米市議会議員
	江村 理奈 <small>えむら りな</small>	久留米大学	江村 理奈 <small>えむら りな</small>	久留米大学
	椎山 克己 <small>しいやま かつみ</small>	久留米信愛女学院 短期大学	椎山 克己 <small>しいやま かつみ</small>	久留米信愛女学院 短期大学

※は、新任委員

○社会教育法（抜粋）

（昭和二十四年六月十日）

（法律第二百七号）

（社会教育委員の設置）

第十五条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

（社会教育委員の職務）

第十七条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

一 社会教育に関する諸計画を立案すること。

二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

（社会教育委員の委嘱の基準等）

第十八条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期その他社会教育委員に関し必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

○久留米市社会教育委員条例（抜粋）

昭和 36 年 4 月 1 日

久留米市条例第 11 号

（目的及び設置）

第 1 条 社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第 15 条の規定により、社会教育委員(以下「委員」という。)を置く。

（定数）

第 2 条 委員の定数は、10 人以内とする。

（委員）

第 3 条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

2 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。



### 第 3 号 議 案

久留米市文化財の指定について

上記の議案を提出する。

平成 2 9 年 1 月 2 4 日

教育長 堤 正 則

#### 提 案 理 由

久留米市文化財保護条例（昭和 4 7 年久留米市条例第 4 3 号）  
第 4 条第 1 項の規定により、久留米市文化財に指定しようとするものである。

久留米市文化財の指定について

次のとおり、久留米市文化財の指定をする。

適用条例	種 別	名 称	保管場所	所有者
	記号番号			
久留米市 文化財 保護条例 第4条 第1項	有形文化財 (古文書)	おがわ く ゆうちゅうせい 小川区有中世 もんじょ 文書 19点	諏訪野町 1830 番地6	小川区 代表者 小川区長 怡土 廣敏
	古第6号	おがわ 附「小川 かがみみえいおぼえづけならびに 鏡御影覚附並 おおともけもんじょ 大友家文書」1点		

# 平成29年度 教育部予算基本方針

## 【基本姿勢】

平成29年度は、「教育に関する大綱」における久留米市の教育理念と基本目標を踏まえ、平成28年3月に策定した「第3期久留米市教育改革プラン」に掲げた重点事項の評価指標達成に向けて、教育施策・事業の着実な前進と教育の本旨である将来に向けた人づくりに取り組んでいきます。

具体的には、学力等の重点課題への対応に向けて、これまで実施してきた取組を徹底していくとともに、学習習慣定着の取組を久留米版コミュニティ・スクール推進事業に位置づけ、放課後補充学習の推進を図るなど学校・家庭・地域が一体となり、学力の保障と向上に取り組めます。

また、児童生徒一人ひとりを大切にす視点から、人権意識の確立や特別支援教育の充実に取り組むとともに、安心して学べる学級や楽しい学校生活を確保するために、不登校やいじめ問題への対策に加え、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の専門家による相談体制を強化します。

さらに、重点事業を支える施策である学校ICTの効果的な活用を推進します。

学校施設の整備・充実については、安全かつ快適な学校施設整備を目指し、国庫補助等を活用しながら、施設の長寿命化や老朽化した校舎等の増改築、トイレの改修及び空調機の整備等に取り組めます。

加えて、米飯給食の週4回実施など学校給食の充実を図るとともに、その他の事業についても、学校・家庭・地域と協働しながら、より効率的かつ効果的な教育行政施策の推進に努めます。

## 【重点取組】

### 1 第3期教育改革プランに基づく教育施策の実施

第3期教育改革プラン2年目となる29年度は、プランの基本方針である「効果の持続」と「課題の改善」を踏まえ、重点に掲げる次の3点に沿って事業を推進します。

---

#### 重点1 わかる授業【学力の保障と向上】

---

授業や校内研修を見直し、子どもに基礎的・基本的な知識・技能を定着させるとともに思考力・判断力・表現力等を伸ばすことで、授業がわかり、学ぶ楽しさを味わうことができる子どもを育てます。

また、全ての小・中学校で行われている「くるめ学」の学習や外国語教育を充実させるとともに、整備が完了した学校間ネットワークによるICTの活用を一層進め、学力の保障と向上に努めます。

#### (1) 授業改善への支援

- ・小学校くるめ学力アップ推進事業  
(少人数授業実施、学力向上支援員の配置)
- ・中学校くるめ学力アップ推進事業  
(学力向上コーディネーター配置、無料の学習支援塾「くるめっ子塾」)
- ・特別支援教育支援員活用事業
- ・「くるめ学」子どもサミット 等

#### (2) 外国語教育の推進

- ・外国語指導助手 (ALT) 活用事業

- ・小学校英語教育充実事業  
(小学校教員の英語指導力の向上のための研修実施)
- ・中学校英語教育充実事業  
(イングリッシュキャンプ実施、実用英語技能検定(英検)の受検)
- (3) 教師力向上への支援
  - ・教職員研修事業
  - ・教育課題研究事業(共同研究成果を発信し、校内研修等の充実を図る。)
- (4) 上記(1)～(3)すべてに関連する事業
  - ・学校ICT環境再構築事業  
(教育イントラネット構築による教育データの利活用促進)

---

## 重点2 たのしい学校【安全・安心な学校づくり】

---

不登校やいじめ問題への対策を行いながら、共感・協調できる子どもを育み、安心して学べる学級づくりや楽しい学校生活が送れるようにします。

また、セーフスクールの取組により、子どもが自ら安全な行動ができるよう指導の充実を図っていきます。

さらに、校務運営の効率化を図ることで、教師が子どもと向き合う時間を確保し、安心・安全な学校づくりに努めます。

- (1) 不登校対応
  - ・小学校不登校対応総合推進事業(生徒指導サポーターの配置)
  - ・中学校不登校対応総合推進事業(校内適応指導教室助手の配置)
- (2) いじめ問題対応
  - ・生徒指導充実事業  
(非常勤講師配置による生徒指導担当教員の専任化)
  - ・いじめ問題の早期発見・早期対応

- (3) 学校生活充実への支援
  - ・健康増進特別事業  
(野外での集団活動等に必要バス借り上げや活動への指導助言)
  - ・学校問題解決支援事業  
(弁護士、精神科医、臨床心理士、警察官等で構成する支援チームの配置)
  - ・教職員研修事業及び教育課題研究事業 ※再掲
- (4) 学校安全への支援
  - ・セーフスクール推進事業  
(セーフスクール推進校をモデルとし、その取組を全市的に展開する。)
- (5) 上記(1)～(4)すべてに関連する事業
  - ・スクールカウンセラー(SC)の配置(委託及び直接雇用)
  - ・スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置(直接雇用)
  - ・SCスーパーバイザー、SSWスーパーバイザーの配置<<新規>>
  - ・学校ICT環境再構築事業 ※再掲(校務支援システムの導入)

---

## 重点3 久留米版コミュニティ・スクールの推進【学校・家庭・地域の協働】

---

全ての小・中学校に設置している地域学校協議会からの提言が十分に反映されるような支援を行います。具体的には、地域人材の積極的な活用を図ることで、学習習慣定着や基礎的・基本的な知識・技能の定着、健やかな成長を支える生活習慣づくりの取組などにおける学校・家庭・地域の協働を推進します。

- (1) 学習習慣定着への支援
  - ・中学校コミュニティ・スクール(久留米版)推進事業<<新規>>  
(学習サポーターによる学習習慣定着・学力向上の支援)
- (2) 地域学校協議会提言実働化への支援
  - ・小・中学校コミュニティ・スクール(久留米版)推進事業

- (学校・家庭・地域の協働を推進するための補助金)
- ・ P T A 団体助成 (久留米市小・中学校 P T A 連合会への活動助成)
- (3) 上記 (1) ・ (2) すべてに関連する事業
  - ・ 学校 ICT 環境再構築事業 ※再掲
  - (家庭学習の課題 (宿題) の共有化による内容の充実)

### その他の施策

- ・ 食育プログラム研究推進事業及び食育啓発・促進事業  
(久留米市栄養教諭等研究会及び P T A への助成)
- ・ 米飯給食の週 4 回実施 **《拡充》**
- ・ 中学校美術教育振興事業 (市立美術館等への移動 (バス借上げ) 支援)
- ・ 発達障害早期総合支援事業  
(発達相談窓口の設置、くるめサマー・トリートメント・プログラム (児童対象の ADHD 治療プログラム) への助成)

## 2 学校教育環境等の整備

学校施設の整備・充実については、児童生徒が、安全で快適に学校生活を送ることができるように、学校施設の長寿命化事業として、外壁・トイレ・防水・グラウンド改修等を行うとともに、中学校の特別教室 (理科室・音楽室) に空調機を整備します。

また、改築事業においては、篠山小学校と屏水中学校については、継続して事業を進め、京町小学校について工事着手を予定しています。

さらに、今後教室不足が発生する見込みである南小学校、山川小学校の増築に向けた設計を行います。

# 平成29年度予算基本方針(市民文化部)

## 1 基本方針

平成29年度は、昨年度に開館した久留米シティプラザや新たなスタートを切った久留米市美術館においては、真価が問われる年であるとともに、(仮称)久留米スポーツセンター体育館の平成30年春供用開始に向けての本体工事最終年でもあり、市政の重要テーマである「文化芸術、スポーツを生かしたまちづくり」を推進していく上での重要な年となるため、これらの事業を着実に進めていく。

また、「市民一人ひとりを大切に 安心、活力に満ちた久留米づくり」を進めるため、市民生活に最も密接に関連する業務を所管する部局として、市民ニーズへの的確な対応を図りながら、「市税の収納率向上・納付環境の整備」、「市民窓口サービスの充実」等の施策を着実に展開し、市民の視点から市民サービスの充実・向上に向けた取り組みを迅速に進める。

さらに、文化芸術が持つ創造の力を人づくりやまちづくりに活かし、市民の誰もが文化芸術を身近に感じ、心豊かに暮らすことのできる都市を目指すため、文化芸術の振興や久留米市が持つ歴史文化を積極的に活用した事業を展開する。

あわせて、市民の生涯学習ニーズが高まっている中で、市民と協働しながら、生涯学習やスポーツ、図書館事業等の取り組みを進める。

## 2 重点施策

### (1) 生涯学習・社会教育の推進

市民が生涯にわたり自己実現を図っていくことができるよう、生涯学習の振興に努め、全市的な生涯学習ネットワークの確立を図るとともに、青少年健全育成の推進、家庭・地域社会の教育力の向上、社会人権・同和教育の推進など、地域に根ざした市民主体の生涯学習・社会教育の推進に取り組む。

また、利用者が安全で安心して利用できるよう生涯学習施設等の改修を進める。

- ◎ 校区コミュニティ組織と連携した生涯学習・社会教育の推進
- ◎ 生涯学習に係るボランティアの積極的養成
- ◎ 青少年健全育成や人権・同和啓発活動等の生涯学習事業の推進
- ◎ 生涯学習施設の改修

## (2) 歴史的資源の保護・活用

久留米市が有する歴史的な資源の適正な保護とその利用及び活用に努めるとともに、市民意識の醸成や地域文化の継承に役立つ。また、地域の活性化につなげるために、地域と連携した事業の展開を図る。

特に、高良山から耳納北麓エリアにおける歴史資源の環境整備等を行い、交流人口の増に取り組む。

- ◎ 歴史ルートづくり事業の推進
- ◎ 歴史公園等の整備・活用（筑後国府跡、大塚古墳等）
- ◎ 六ツ門図書館展示コーナーにおける企画展の開催
- ◎ 有馬記念館や坂本繁二郎生家の運営・活用
- ◎ 歴史的建造物の保存整備に向けた調査
- ◎ 埋蔵文化財の適切な保存・活用と調査の効率化

## (3) スポーツの推進

市民がライフステージに応じて、身近な地域でスポーツに親しみ、健康づくりに取り組むことができるよう、「久留米市スポーツ振興基本計画」に基づき、各種スポーツ事業の実施や、スポーツ推進委員・各種競技団体・総合型地域スポーツクラブ等との連携など、市民スポーツの推進に努める。

また、県南の中核を担う広域的なスポーツ施設の充実に向け、久留米総合スポーツセンター内の体育館、武道館、弓道場の一体的な改築について、県と連携し、着実な施設整備の推進を図るとともに、ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、キャンプ地誘致など開催効果を引き込む取り組みを進める。

あわせて、市民が安心して利用できるようスポーツ施設等の改修を進める。

- ◎ 久留米市スポーツ振興基本計画に基づいた事業の推進
- ◎ 県と連携した久留米総合スポーツセンター内の体育館、武道館、弓道場の一体改築の推進（本体工事竣工）
- ◎ 県と連携したラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック等キャンプ地誘致の取組強化
- ◎ 総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員と連携した運動習慣のきっかけづくりの実施
- ◎ 国際大会等で活躍が期待できるトップアスリートの育成・支援
- ◎ スポーツ施設の改修

## (4) 市民の自己学習の場としての図書館づくり

市民一人ひとりの学びと情報の拠点として、市民生活の充実と地域社会の発展を支える役割を担うため、多様な図書資料や情

報の収集・蓄積を行い、利用者への適切な提供や企画展示など積極的な利活用を図る。

また、各地域館や図書施設とのネットワークの緊密化、石橋文化センターや久留米市美術館など隣接施設・関係団体等との連携などにより、図書館全体の総合力を高め、サービスの充実を図る。

- ◎ 図書館施設環境の整備及び運営体制の充実
- ◎ 移動図書館や視覚障害者総合ネットワークを活用した図書館利用困難者への対応
- ◎ 第3次子どもの読書活動推進計画の関係部局との連携による事業推進と具現化
- ◎ 図書館ボランティアやNPO、関係団体などとの連携・協働
- ◎ 文化センター及び市美術館と一体化した連携・協力体制の確立



## 教育委員会後援事業等に関する報告

H28.12.6からH29.1.15 受付分まで

No.	日時	事業名	主催者名	場所	区分	担当課
1	平成29年1月22日(日) 9時45分～15時30分	第38回久留米市ボランティアフェスティバル	第28回久留米市ボランティアフェスティバル実行委員会	久留米シティプラザ (六角堂広場・大会議室・中会議室)	後援	学校教育課
2	平成29年2月18日(土) 13時～16時40分	New Education Expo2016 特別企画「全国縦断 教育の情報化セミナー」in 福岡	New Education Expo 実行委員会	福岡ユビキタス協創広場CANVAS(福岡市中央区大名2-9-27)	後援	学校教育課
3	平成29年2月18日(日) 14:00開演	津軽三味線と民謡演奏会	田主丸町文化協会	そよ風ホール	後援	田主丸文化スポーツ課
4	平成29年1月9日(月・祝) 13時30分開演予定	石橋文化センター開園60周年記念事業 第45回市民プラスコンサート ニューイヤー・バンド・フェスティバル	公益財団法人久留米文化振興会	石橋文化ホール	共催★	生涯学習推進課
5	平成29年1月22日(日)9:00～17:00	喜多流演能公演	久留米座演能実行委員会	久留米シティプラザ 久留米座	後援★	生涯学習推進課
6	平成29年2月4日(土)～3月20日(月・祝) 開館39日間 開館時間10:00～17:00 (入館は16:30まで) ※3月20日を除く月曜日は休館	生誕140年 吉田博展	久留米市美術館	久留米市美術館(本館2階)	後援★	生涯学習推進課
7	平成29年2月12日(日)、4月9日(日)、5月14日(日)、6月11日(日)、7月9日(日)、8月6日(日) 時間10:00～11:30	子育てセミナー	家庭倫理の会久留米市	サンライフ久留米	後援	生涯学習推進課
8	平成29年2月26日(日) 13:00～15:00	PRISMix～ノーマライゼーションSHOW～(久留米市協働事業)	gocochi(ゴコチ)	久留米シティプラザ (久留米座)	後援	生涯学習推進課
9	平成29年①3月1日(水)10:00～12:00 ②3月4日(土)14:00～16:00	講演会&ワークショップ 「7ヶ国語で話そう。」	一般財団法人言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ 久留米	久留米シティプラザ ①中会議室 ②スタジオ2	後援	生涯学習推進課
10	平成29年3月5日(日)14:00～16:00	コールJAくるめ 50周年記念コンサート	コールJAくるめ	えーるピア久留米 視聴覚ホール	後援★	生涯学習推進課

No.	日時	事業名	主催者名	場所	区分	担当課
11	平成29年3月8日(水)～ 26日(日)10:00～17:00	第65回久留米市総合美術 展事業	久留米市総合美術展 実行委員会	久留米市美術館1階	共催★	生涯学習 推進課
12	平成29年 ①3月19日(日)18:00～ 20:00 ②3月20日(月)13:00～ 15:00	演劇公演「久留米がすりの うた」	劇団PROJECTぴあ	久留米シティプラザ 久留米座	後援	生涯学習 推進課
13	平成29年3月26日(日) 10:30～12:10	家庭倫理講演会	家庭倫理の会久留米 市	ホテルニュープラザ 「筑紫の間」	後援	生涯学習 推進課
14	平成29年4月22日(土)18 時開演予定	ザ・クロマニヨンズ TOUR BIMBOROLL 2016-2017	公益財団法人久留米 文化振興会	石橋文化ホール	後援	生涯学習 推進課
15	平成29年5月28日(日)13 時開演予定	第28回くるめ新人演奏会	公益財団法人久留米 文化振興会	石橋文化ホール	後援	生涯学習 推進課
16	平成29年3月19日(日) 10時30分～15時30分	おくすり健康フェアinくるめ 2017	一般社団法人 久留 米三井薬剤師会	えーるピア久留米 体育館	後援	学校教育 課
17	平成29年2月26日(日) 10:00～11:30	第14回高松凌雲記念かき ぞめ大会	高松凌雲顕彰会	小郡市生涯学習セン ター	後援	学校教育 課
18	平成29年2月19日(日) 10:00～	久留米市少年健全育成駅 伝大会	久留米市青少年育成 市民会議 久留米市校区青少年 育成協議会連絡会議	久留米総合スポーツ センター メイン陸上 競技場及びその周辺	共催	学校教育 課
19	平成29年12月5日(火)～ 12月10日(日)10:00～ (予定)	福岡県退職中学校長会趣 味の作品展(美術展)	久留米市退職中学校 長会	久留米市美術館(予 定)	後援	学校教育 課
20	平成29年3月25日(土) 14時～16時30分	久留米信愛女学院中学校・ 高等学校合唱部 第22回 定期演奏会	久留米信愛女学院中 学校・高等学校合唱 部 第22回定期演 奏会	石橋文化ホール	後援	学校教育 課

教 育 委 員 会 資 料  
平 成 2 9 年 1 月 2 4 日  
教 育 部

### 第3期久留米市教育改革プランの進捗状況について

## 目 次

1	教育改革プランの概要	1
2	久留米市教育に関する大綱について	1
3	第3期プランの目標	2
4	目指す子どもの姿	3
5	3つの重点と4つの視点による学校力の向上	3
6	第3期プランの概要図	5
7	第3期プランの進捗状況	6
8	総括と今後に向けて	11

## 1 教育改革プランの概要

### (1) 位置付け

第3期久留米市教育改革プラン（以下「第3期プラン」といいます。）は、久留米市新総合計画第3次基本計画及び久留米市教育に関する大綱に掲げられた目指す理念や基本方針等の実現に向けて、教育基本法に基づいて定めた市の教育振興基本計画であり、教育施策に関する中期的事業プランと位置付けています。

### (2) 策定範囲

第3期プランは、久留米市が市立学校として、小・中・特別支援学校及び高等学校を設置している特性を活かし、第2期久留米市教育改革プランと同様に学校教育分野を主な対象とします。また、家庭や地域と協働した学校の教育力の向上に関する施策についても対象範囲とします。

### (3) 対象期間

第3期プランの計画期間は、久留米市新総合計画第3次基本計画及び久留米市教育に関する大綱の期間と同じく平成28年度から平成31年度までの4年間です。

## 2 久留米市教育に関する大綱について

### (1) 策定の経過

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、平成27年4月より、すべての地方公共団体が首長と教育委員会で構成する「総合教育会議」を設置し、首長が教育に関する大綱を策定することとされました。

このことを受けて、久留米市では、総合教育会議における協議結果を踏まえて、平成27年11月に「久留米市教育に関する大綱」を策定しました。

### (2) 概要

#### ① 理念

大綱では、一人ひとりを大切にしたい未来を担う人づくりを進めるために「未来に希望の持てるまちづくりに向けて、教育の充実を図ること」「子どもたちの生きる力を育み、市民一人ひとりが生涯を通じて学ぶことのできる環境づくりを進めること」を理念として掲げています。

#### ② 基本方針と基本目標

大綱の理念を実現するために、3つの基本方針を掲げ、学校教育や社会教育、文化芸術、スポーツなど各分野の施策の方向性を示しています。また、基本方針を受けて7つの基本目標を掲げ、理念や基本方針を実現するための中心となる施策内容を掲げています。

### 基本方針

- 1 子どもの笑顔があふれるまち
- 2 心豊かな市民生活を創造するまち
- 3 人権が確立されたまち

### 基本目標

- ① 生きる力の育成
- ② 特色ある教育の推進
- ③ 安心して学べる学校教育の環境づくりの推進
- ④ 子どもたちの健やかな育ちを支える環境づくりの推進
- ⑤ 生涯を通じて学び、活かせる環境の整備
- ⑥ 誰もが楽しめるスポーツの振興
- ⑦ 人権意識の確立

### (3) 大綱の特徴

大綱の特徴として、学力とも密接に関連する子どもの貧困対策の推進など、子どもの健やかな育ちを支える重要施策を盛り込んだことが挙げられます。

また、時代のニーズを踏まえて外国語教育を充実すること、文化芸術等を活かしたまちづくりの視点を踏まえて、久留米シティプラザや久留米市美術館の活用による市の特色を活かした教育を掲げたことなどがあります。

### (4) 大綱と第3期プランの関係

第3期プランは、上記に掲げる大綱に基づき、特に学校教育分野を対象として、具体的な教育施策等を定めるものです。

## 3 第3期プランの目標

第3期プランの目標は、「ふるさと久留米を愛し、ともに社会を生き抜く力の育成」です。

次代の久留米を担う子どもたちには、たくましさと思いやりのある心を備え、自分が生まれ育った久留米への愛着と誇りを持って、将来に渡ってふるさとへの貢献を思う人に育ってほしいと願っています。また、そのために育成したい力として次の3つを掲げました。

まなぶ力	【知】	学びへの意欲、知識や技能、思考力・判断力・表現力など
つながる力	【徳】	他者への思いやり、規範意識や社会のルールを守る力など
やりぬく力	【体】	考え抜く力、困難を乗り越えようとする強い意志など

#### 4 目指す子どもの姿

一人ひとりの子どもが将来の夢や希望、目標に向かって志をもち、仲間とともに切磋琢磨し、粘り強く学び続けることができるように、第3期プランでは、目指す子どもの姿を **夢に向かって学ぶ「くるめっ子」** と設定しています。

併せて、目指す姿を具体化する上で、「くるめっ子」の基本としてどの子どもにも徹底したいこととして、**あいさつ・そうじ・自学自習** の3つを大切にすることとしています。

#### 5 3つの重点と4つの視点による学校力の向上

第3期プランでは、第2期プランで達成した事項の「効果の持続」と、達成に向かっていない事項や未達成の事項は、達成に向けて改善に取り組む「課題の改善」を基本方針とし、以下の3点で重点化を図ります。

##### 重点1 わかる授業【学力の保障と向上】

毎日の授業や校内研修のあり方等を見直し、子どもに基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけさせるとともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を伸ばすことで、授業がわかり、学ぶ楽しさを味わうことができる子どもを育てます。

また、「くるめ学」の学習や外国語教育を充実させるとともに、ICTの活用を一層進め、学力の保障と向上に努めます。

##### 重点2 たのしい学校【安全・安心な学校づくり】

不登校やいじめ問題への対策を行い、安心して学び楽しい学校生活を送れるようにします。その中で、自分の大切さとともに他者の大切さを認め、共感・協調できる子どもを育てます。

また、セーフスクールの取組を充実させることで、子ども自らがいかに自分で自分の身を守るかを意識し、自ら安全な行動ができるよう指導の充実を図ります。

さらに、校務運営の効率化を図ることで、教師が子どもと向き合う時間を確保し、安全・安心な学校づくりに努めます。

##### 重点3 久留米版コミュニティ・スクールの推進【学校・家庭・地域の協働】

地域学校協議会を充実させ、提言の実働化と学校関係者評価の充実を図っていきます。具体的には、地域人材の積極的な活用を図ることで、子どもたちの学習習慣定着や基礎的・基本的な知識・技能の定着を中心とした取組、健やかな成長を支える生活習慣づくりの取組、健全育成の取組などを推進していきます。

そのうえで、3つの重点を貫く4つの視点を次のとおり設定し、それぞれの重点に係る具体的な施策を展開する上での一貫性や関連性を持たせ、効果的に取組を推進します。

### **視点1 人権・同和教育の推進**

人権感覚を高め続ける教職員の存在等、人権が尊重された環境のもと、全教科等を通じて、児童・生徒一人ひとりが自他を大切にする態度や技能を身につけることができる学校づくりを進めます。

### **視点2 外国語教育の推進**

外国語活動や英語教育を中心に、学校の教育活動全体を通じて異なる文化や人々に対する理解を深め、子どもたちが急速なグローバル化が進む国際社会の中で生き抜くために、必要な資質・能力の育成を重視した学校づくりを進めます。

### **視点3 特別支援教育の推進**

子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じる特別支援教育を充実するとともに、誰もがわかりやすい授業、誰もがすごしやすい学校生活を提供できるユニバーサルデザインの学校づくりを進めます。

### **視点4 小中連携教育の推進**

中学校入学後に不登校生徒数が増加するという中1ギャップを克服し、学習や生活について、中学校でのよりよい適応を目指す小中学校間の連携を行う学校づくりを進めます。

以上のような3つの重点、4つの視点による取組を進める中で、学校力の向上を目指します。

学校力とは、子どもたちの教育について、学校や家庭、地域がそれぞれの役割を果たそうとする責任感を基礎に、学校が解決すべき教育課題に学校の教職員の協働により立ち向かおうとする学校の自立心を中核とし、学校で育成する子どもの力、子どもの力をはぐくむ教師の力や家庭の教育力、地域の教育力で構成されます。



6 第3期プランの概要図

久留米市新総合計画〔第3次基本計画〕「市民一人ひとりが輝く都市久留米」  
 ◆子どもの笑顔があふれるまち ◆人権の尊重と男女共同参画が確立されたまち  
**【教育に関する大綱】**  
 「一人ひとりを大切にしたい未来を担う人づくり」への取組→学力の保障と向上、特色ある教育

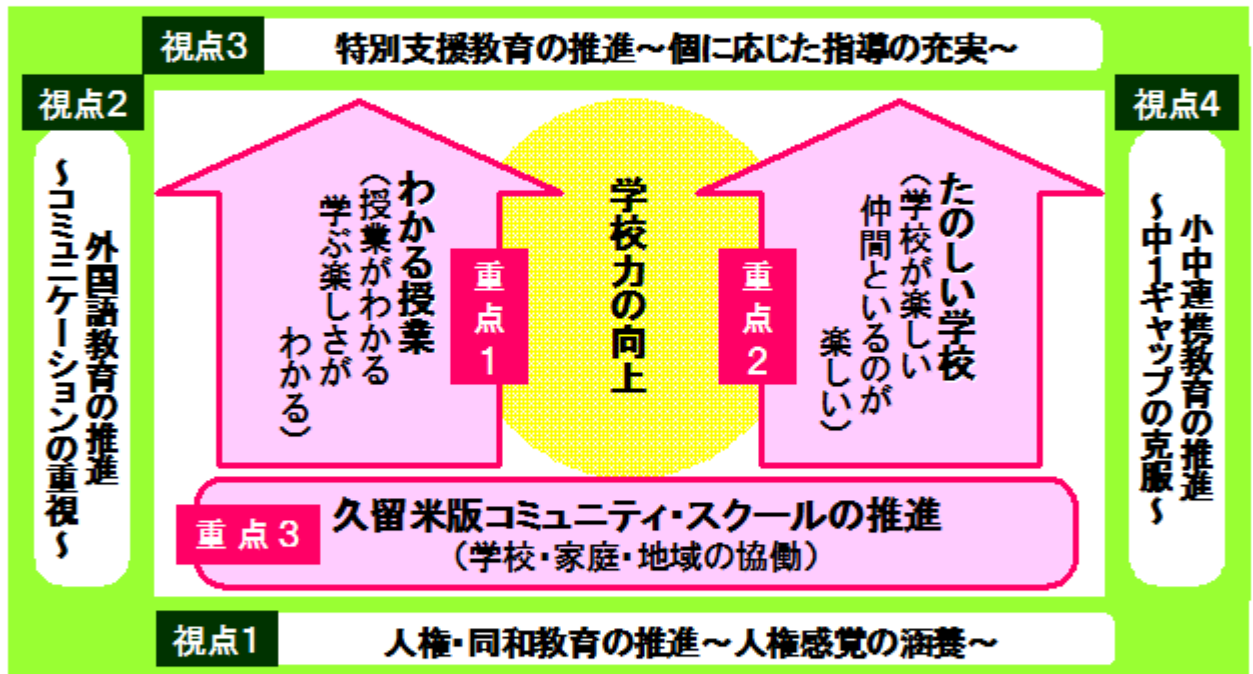


第3期教育改革プランの目標

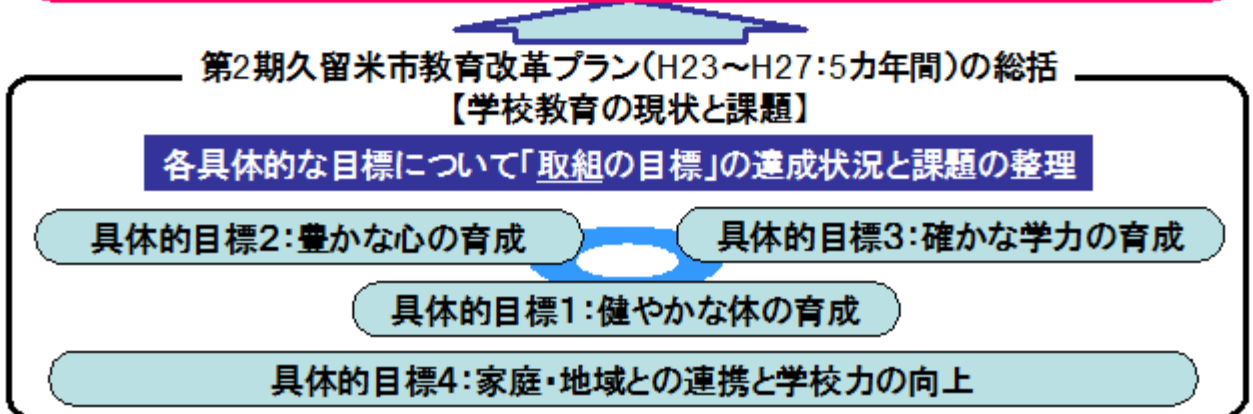
ふるさと久留米を愛し、ともに社会を生き抜く力の育成  
 【まなぶ力・つながる力・やりぬく力】

目指す姿

夢に向かって学ぶ「くるめっ子」  
 【あいさつ・そうじ・自学自習】



効果(不登校の予防と解消)の持続と課題(学力の保障と向上)の改善



## 7 第3期プランの進捗状況

第3期プランの評価指標に関する平成28年度の進捗状況は、次のとおりです。  
なお、表中の評価欄の記号は、以下のとおりです。

評価欄	◎ 達成（予定通り進捗）	○ 概ね達成（概ね予定通り進捗）
	△ 未達成（予定通り進捗せず）	× 未着手

### 重点1 わかる授業【学力の保障と向上】

	施策	評価指標	策定時 (%)																											
	28年度の成果等		現在 (%)																											
	課題と今後の取組等																													
1	授業改善への支援 (学校教育課)	全国学力・学習状況調査結果で全国平均を超える。 (全国学力・学習状況調査)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H27)</th> <th>久留米市</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6国語A</td> <td>68.3</td> <td>70.0</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>63.2</td> <td>65.4</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>72.1</td> <td>75.2</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>42.7</td> <td>45.0</td> </tr> <tr> <td>中3国語A</td> <td>72.3</td> <td>75.8</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>62.6</td> <td>65.8</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>60.3</td> <td>64.4</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>37.3</td> <td>41.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均正答率の数値</p>	(H27)	久留米市	全国	小6国語A	68.3	70.0	国語B	63.2	65.4	算数A	72.1	75.2	算数B	42.7	45.0	中3国語A	72.3	75.8	国語B	62.6	65.8	数学A	60.3	64.4	数学B	37.3	41.6
			(H27)	久留米市	全国																									
小6国語A	68.3	70.0																												
国語B	63.2	65.4																												
算数A	72.1	75.2																												
算数B	42.7	45.0																												
中3国語A	72.3	75.8																												
国語B	62.6	65.8																												
数学A	60.3	64.4																												
数学B	37.3	41.6																												
評価	△	<p>平成27年度と比較すると、小学校国語B、算数A・Bは全国平均正答率との差が縮まり、改善の傾向が見られた。また、中学校国語A・B、数学Bは全国平均正答率との差が縮まり、改善の傾向が見られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(H28)</th> <th>久留米市</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6国語A</td> <td>68.3</td> <td>72.9</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>57.6</td> <td>57.8</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>75.9</td> <td>77.6</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>46.9</td> <td>47.2</td> </tr> <tr> <td>中3国語A</td> <td>72.7</td> <td>75.6</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>63.8</td> <td>66.5</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>57.8</td> <td>62.2</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>40.0</td> <td>44.1</td> </tr> </tbody> </table>	(H28)	久留米市	全国	小6国語A	68.3	72.9	国語B	57.6	57.8	算数A	75.9	77.6	算数B	46.9	47.2	中3国語A	72.7	75.6	国語B	63.8	66.5	数学A	57.8	62.2	数学B	40.0	44.1	
(H28)	久留米市	全国																												
小6国語A	68.3	72.9																												
国語B	57.6	57.8																												
算数A	75.9	77.6																												
算数B	46.9	47.2																												
中3国語A	72.7	75.6																												
国語B	63.8	66.5																												
数学A	57.8	62.2																												
数学B	40.0	44.1																												
<p>全ての教科区分で、久留米市の平均正答率は国・県の平均正答率を下回った。そこで、学力テストの結果を検証改善するシステムを各学校に立案させ、実効的な学力向上の取り組みに努める。そのうえで、各学校で授業改善と補充学習を通じた基礎・基本的な内容の習得や活用力を高める指導体制の充実に努める。</p>																														

	施策	評価指標	策定時 (%)	
	28年度の成果等		現 在 (%)	
	課題と今後の取組等			
2	外国語教育の推進 (学校教育課)	中学校3年生までの英検3級の取得率が全国平均を超える。 (英語教育実施状況調査)	(H27)久留米市 取得率 15.9	(H26)全国 取得率 18.4
	評価	◎	(H28)久留米市 取得率 20.8	(H27)全国 取得率 18.9
	<p>中学3年生の英検3級以上の取得率は、平成27年度時点の全国平均を超えることができた。</p> <p>中学3年生の約5割にあたる生徒が英検3級を受験し、合格率は23.6%となり、取得率は27年度の全国平均を上回っている。また、次年度から記述式の問題が出題されることになっており、自分の考えを英語で表現する等の英語力向上を図るための指導方法の工夫改善について指導助言を行う。</p>			

	施策	評価指標	策定時 (%)		
	28年度の成果等		現 在 (%)		
	課題と今後の取組等				
3	教師力向上への支援 (学校教育課) (教育センター)	授業がわかると答える児童生徒の割合や学校に行くのが楽しいと答える児童生徒の割合が全国平均を超える。 (全国学力・学習状況調査)	(H27)	久留米市	全国
	評価	△	小6国わかる	80.8	82.0
	<p>中学校3年で国語の授業の内容がよくわかると肯定的に回答した生徒の割合は、平成27年度よりも全国平均との差が縮まった。</p> <p>小学校6年の国語、算数及び中学校3年の数学の授業の内容がよくわかると肯定的に回答した久留米市の児童生徒の割合は、27年度よりも全国平均との差が開いた。そこで、校内研修や学校訪問での指導・助言等を通して、教職員一人ひとりの授業力の向上に努める。</p>		小6算わかる	79.9	81.0
			中3国わかる	68.6	74.3
			中3数わかる	72.7	71.6
			小6楽しい	84.0	87.0
			中3楽しい	79.8	82.1
			(H28)	久留米市	全国
			小6国わかる	77.2	80.7
			小6算わかる	78.4	80.2
			中3国わかる	73.2	74.1
			中3数わかる	64.6	69.4
			小6楽しい	82.9	86.3
			中3楽しい	79.1	81.4

## 重点2 たのしい学校【安全・安心な学校づくり】

	施策	評価指標	策定時 (%)														
	28年度の成果等		現在 (%)														
	課題と今後の取組等																
1	不登校対応 (学校教育課)	不登校の出現率が全国を下回り、 復帰率が県を上回ることを維持しつづ、さらなる改善を目指す。 (児童生徒問題行動等調査)	<table border="1"> <tr> <td>(H26)</td> <td>久留米市</td> <td>全国(県)</td> </tr> <tr> <td>出現率</td> <td>11.5</td> <td>12.6(国)</td> </tr> <tr> <td>復帰率</td> <td>49.6</td> <td>34.8(県)</td> </tr> </table> <p>※出現率＝不登校児童生徒数/全児童生徒数 ※復帰率＝復帰者数/不登校児童生徒数 (いずれも1,000人当たりの割合)</p>	(H26)	久留米市	全国(県)	出現率	11.5	12.6(国)	復帰率	49.6	34.8(県)					
			(H26)	久留米市	全国(県)												
	出現率	11.5	12.6(国)														
復帰率	49.6	34.8(県)															
評価	◎	<table border="1"> <tr> <td>(H27)</td> <td>久留米市</td> <td>全国(県)</td> </tr> <tr> <td>出現率</td> <td>11.3</td> <td>12.7(国)</td> </tr> <tr> <td>復帰率</td> <td>36.8</td> <td>29.2(県)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>H28.12 末時点</td> <td>久留米市</td> </tr> <tr> <td>出現率</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td>復帰率</td> <td>42.0</td> </tr> </table>	(H27)	久留米市	全国(県)	出現率	11.3	12.7(国)	復帰率	36.8	29.2(県)	H28.12 末時点	久留米市	出現率	9.3	復帰率	42.0
(H27)	久留米市	全国(県)															
出現率	11.3	12.7(国)															
復帰率	36.8	29.2(県)															
H28.12 末時点	久留米市																
出現率	9.3																
復帰率	42.0																
<p>出現率が全国を下回っていても、不登校児童生徒が存在することは課題である。今後、より一層の福岡アクション3の周知徹底、スクール・カウンセラーやスクール・ソーシャルワーカーとの連携を図りながら未然防止、早期発見・早期対応に取り組み、評価指標を達成したい。</p>																	

	施策	評価指標	策定時 (%)														
	28年度の成果等		現在 (%)														
	課題と今後の取組等																
2	いじめ問題対応 (学校教育課)	いじめの認知件数が全国を上回り、 解消率が全国平均を超える。 (児童生徒問題行動等調査)	<table border="1"> <tr> <td>(H26)</td> <td>久留米市</td> <td>全国</td> </tr> <tr> <td>認知件数</td> <td>40.7</td> <td>17.8</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>93.7</td> <td>88.9</td> </tr> </table> <p>※ 児童生徒 1,000 人当たりのいじめ認知件数</p>	(H26)	久留米市	全国	認知件数	40.7	17.8	解消率	93.7	88.9					
			(H26)	久留米市	全国												
	認知件数	40.7	17.8														
解消率	93.7	88.9															
評価	○	<table border="1"> <tr> <td>(H27)</td> <td>久留米市</td> <td>全国</td> </tr> <tr> <td>認知件数</td> <td>26.6</td> <td>21.4</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>90.9</td> <td>89.1</td> </tr> </table> <p>※ 児童生徒 1,000 人当たりのいじめ認知件数</p> <table border="1"> <tr> <td>H28.12 末時点</td> <td>久留米市</td> </tr> <tr> <td>認知件数</td> <td>25.9</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>81.7</td> </tr> </table>	(H27)	久留米市	全国	認知件数	26.6	21.4	解消率	90.9	89.1	H28.12 末時点	久留米市	認知件数	25.9	解消率	81.7
(H27)	久留米市	全国															
認知件数	26.6	21.4															
解消率	90.9	89.1															
H28.12 末時点	久留米市																
認知件数	25.9																
解消率	81.7																
<p>いじめの認知については、学校間で格差が見られるため、いじめの定義等について繰り返し周知し、引き続きその把握に努める。併せて、教師の生徒指導の取組の強化やスクール・カウンセラーによる教育相談を活用しながら、解消率の向上に努める。</p>																	

	施策	評価指標	策定時 (%)	
	28年度の成果等		現 在 (%)	
	課題と今後の取組等			
3	学校生活充実への支援 (学校教育課) (教育センター)	学校に行くのが楽しいと答える児童生徒の割合(再掲)や、自分にはよいところがあると答える児童生徒の割合が全国平均を超える。 (全国学力・学習状況調査)	(H27)	よいところがある
			小6	72.0
	中3	60.5		
	評価	△		
	平成27年度よりも、中学校において自分にはよいところがあると肯定的に回答した生徒の割合が高くなった。		(H28) よいところがある	久留米市 全国
			小6	70.4 76.3
			中3	61.1 69.3
	自分にはよいところがあると肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校では27年度より減少し、全国平均を5.9%下回った。中学校では27年度より上昇したが、全国よりも8.2%低い結果となった。そこで、学校生活において児童生徒が自己有用感や自己肯定感が高まるような取組を通し、自尊感情が高まるように指導していく。			

	施策	評価指標	策定時	
	28年度の成果等		現 在	
	課題と今後の取組等			
4	学校安全への支援 (学校教育課)	日本スポーツ振興センター災害給付対象けが件数の減少(小学校)	(H26) 1,612件	
			評価	△
	平成26年度と比較して、27年度は63件増加したほか、各年度11月末現在で比較すると、28年度も増加傾向にある。		(H27) 1,675件	参考
				(H26.11.30 現在) 959件
				(H27.11.30 現在) 1,032件
				(H28.11.30 現在) 1,057件
	場合別では休憩時間に、場所別では校庭・運動場における件数が最も多く、教師の監督が行き届きにくい時に発生する傾向にある。 今後、セーフスクール推進事業を市内全小学校で実施するとともに、上津小学校がモデル校として取り組んできたセーフコミュニティの「学校の安全」の取組を市内全小学校に拡充することによって、教師・児童を含めた各学校の取組の充実に努める。			

### 重点3 久留米版コミュニティ・スクールの推進【学校・家庭・地域の協働】

	施策	評価指標	策定時 (%)
	28年度の成果等		現在 (%)
	課題と今後の取組等		
1	学習習慣定着への支援 (学校教育課)	家庭等での学習時間の向上 (1時間以上) (全国学力・学習状況調査)	(H27) 小6 55.7 中3 63.8  ※ 平日に家庭学習を1時間以上している児童生徒の割合
	評価	○	(H28) 小6 52.4 中3 64.2
	<p>中学3年生においては、家庭等での学習時間(1時間以上)の向上が見られた。</p> <p>小中ともに家庭等での学習時間は十分ではないので、計画的な宿題や地域学校協議会による学習習慣定着のための取組の提言を指導していく。</p>		

	施策	評価指標	策定時 (%)
	28年度の成果等		現在 (%)
	課題と今後の取組等		
2	地域学校協議会提言実働化への支援 (学校教育課)	地域学校協議会提言の達成率の向上	(H27) 達成率 71.7
	評価	○	<p>① 地域学校協議会の提言の実働化についての進捗状況を、平成28年7月の中間報告書で把握したところ、学校ごとの課題に基づく提言に応じ、「学力」や「生活習慣」などに関する取組が行われている。</p> <p>② 地域学校協議会会長等研修会において、久留米市の先進的な取組の実践事例3校(津福小・長門石小・屏水中)の紹介を行った。</p> <p>① 地域学校協議会の提言を受けた実働の内容は、学力保障・向上の取組47%、基本的な生活習慣の取組22%、スローメディアの取組18%、特色ある学校づくりの取組7%、食育の取組4%、不登校の取組2%であった。</p> <p>② 提言に基づいた実働が計画的になされているのかについての自己評価では、約70%の学校が肯定的な評価をしている。 (①②出典：中間報告書)</p>
	<p>学校が地域学校協議会の中で課題を明らかにし、その課題から「校区で目指す子ども像」についての熟議を重ねたうえで、提言が行われる仕組みを構築するよう研修会で促していく。</p>		

## 8 総括と今後に向けて

### (1) 評価指標の総括

- ① 重点1 わかる授業（学力の保障と向上）については、授業改善への支援と教師力向上への支援を行っていますが、十分な学力向上の成果には結びついていません。

今後、各学校の学力向上コーディネーターを中心に、学力向上に向けた検証改善システムを構築するとともに、児童生徒だけでなく、教師の指導力向上に向けた仕組みとしても運用していきます。

- ② 重点2 たのしい学校（安全・安心な学校づくり）については、不登校・いじめ対応の評価指標が目標を上回りました。子どもたちが安心して学び、楽しい学校生活を送ることが学力向上の前提として不可欠ですので、引き続き効果の持続に努めます。

また、評価指標が未達成である学校安全への支援については、セーフコミュニティの取組を市内の全小学校に拡大することにより、効果の向上を目指します。

- ③ 重点3 久留米版コミュニティ・スクールの推進（学校・家庭・地域の協働）については、学習習慣定着への支援について、中学校の向上が見られました。

今後、家庭・地域との協働を進めながら、補充学習の取組を強化することによって、家庭を含めた学習習慣の定着の基盤づくりを進めます。

### (2) 今後のプランの推進に向けて

久留米市の市立学校に勤務する教員は、50歳代が多く、近年多数の新規採用職員が任用されており、世代交代が進んでいます。

また、児童生徒同士の学び合いを重視し、討論や発表を通して主体的に学ぶアクティブ・ラーニングの導入、英語の正式教科等を掲げる新学習指導要領が平成32年度から小学校で、33年度から中学校で、34年度から高校で全面実施されます。

このように、教育を取り巻く大きな環境変化が見通される中、第3期プランに基づいて一貫性・継続性を確保しながら、久留米市の特色を活かした取組を進めます。

平成28年第4回(12月)久留米市議会一般質問回答要旨  
質 問 一 覧 ( 教 育 部 関 連 )

質問議員	質 問 内 容
塚本 弘道 議員	3 教育行政について (1) 学校教室について
佐藤 晶二 議員	4 全国学力テストへの考え方について
金子 むつみ 議員	3 全国学力テストの問題について
甲斐 征七生 議員	1 非正規雇用の待遇改善について (4) 学校図書司書について 3 教職員の超過勤務について (1) 実態と改善について
原 学 議員	2 第3期教育改革プランについて
田住 和也 議員	3 小中学校の学力について

(教育部関係・発言順)

【質問議員】 塚本 弘道 議員

【質問要旨】 3 教育行政について  
(1) 学校教室について

【質問趣旨】 小中学校における教室不足や増減の現状と今後の対応はどのようなになっているのか。

【回答要旨】 1 学級数の現状について

久留米市の小中学校の普通学級数を過去5年間で比較しますと、小学校は571学級から564学級へ7学級減少、中学校は230学級から220学級へ10学級減少となっております。

一方、特別支援学級数を見ますと、小学校は84学級から109学級へ25学級増加、中学校は33学級から41学級へ8学級増加となっており、小中学校の普通学級と特別支援学級をあわせた全体学級数としては16学級増加となっております。

このような状況の中、学級数の増加により普通教室に不足が生じる学校については、これまで、余裕教室の活用、特別教室から普通教室への一時転用、教室の増設といった取組により教室不足に対応してきたところです。

2 今後の対応について

今後6年間の児童生徒数推計による普通学級数の推移は、小学校14校で増加、9校で減少し、中学校5校で増加、10校で減少する見込みとなっており、地域差が見られるところです。

また、特別支援学級については、児童生徒数の推計が困難で、県教育委員会による学級設置の認可も不透明な状況であります。



いずれにしても、児童生徒の学習活動に支障が生じないように優先的に教室を確保する必要があるため、適切に対応し教室不足が生じないようにしていきたいと考えております。

**【質問議員】** 佐藤 晶二 議員

**【質問要旨】** 4 全国学力テストへの考え方について

**【質問趣旨】** 都市魅力を高めるには、子ども達が確かな学力を身に付けることができる教育環境づくりが重要な課題である。学力の指標の一つである全国学力テストにおいて、久留米市は、いまだに全国平均に到達できていないが、全国上位県との取組の違いを、どうとらえているか。

**【回答要旨】** 1 全国学力・学習状況調査の現状について

平成28年度の全国学力・学習状況調査では、全国平均正答率に小学校の国語Bでは、あと0.2ポイント、算数Bでは、あと0.3ポイントに迫るなど、活用力に関して着実な伸びが見られました。しかし、国語Aでは、言語事項の内容定着が不十分という課題が明らかになったところです。

一方、中学校では、昨年度からすると、国語Aは0.6ポイント、国語Bは0.5ポイント、数学Bでは0.2ポイント、全国平均正答率との差が縮まりました。

しかしながら、小中学校ともに、全国平均を超えるという目標が達成できていないことを重く受け止め、さらなる対策を講じる必要性を認識しております。

2 今後の対応について

本年、こうした状況のもと、全国上位の自治体と久留米市との取組の違いを把握するため、市教育委員会では、全国学力・学習状況調査の上位県である秋田県と福井県への先進地視察を行いました。

その結果、生徒指導上の諸問題の発生件数が久留米市と比べるとかなり少なく、家庭等での学習時間が長いことなど、落ち着いて学習に取り組める生活環境、教育風土に大きな差が見られることがわかりました。

また、教育委員会の取組として、独自の学力実態調査の実施、少人数授業実施のための人的配置、授業改善につながる学校訪問など、久留米市と共通した取組が見られましたが、県及び市レベルの学級少人数化の基準や支援員の配置等、その内容に差が見られました。

各学校の取組におきましては、授業改善のための校内研修、家庭学習の推進、放課後や長期休業中の補充学習など、久留米市と同様の取組が実施されてきましたが、久留米市とは、各学校の児童生徒の実態に応じた学力向上の具体的計画と実効性、さらにその徹底状況に違いがあり、取組の強化が必要と感じたところです。

今後、市教育委員会としては、教職員の意識改革や各学校の取組の徹底のため、指導主事の指導・助言を強化できるよう体制整備を行い、各学校の学力向上を支援していきたいと考えております。

【質問議員】 金子 むつみ 議員

【質問要旨】 3 全国学力テストの問題について

【質問趣旨】 全国学力・学習状況調査に平成 19 年度から参加しているが、その成果をどう捉えているのか。

【回答要旨】 久留米市においては、全国学力・学習状況調査が始まった平成 19 年度からこれに参加し、その結果を分析してきております。この調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

○児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること。

○各学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること。

○そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること。

であります。

この目的にもあるように、全国学力・学習状況調査に参加することは、個々の児童生徒が自分の課題を把握し、その課題を保護者も含めて共有するだけでなく、児童生徒の実態に即した授業改善や補充学習の実施につながり、学校全体の課題に応じた検証サイクルを確立していく上で効果があると捉えております。

【質問議員】 甲斐 征七生 議員

【質問要旨】 1 非正規雇用の待遇改善について  
(4) 学校図書司書について

【質問趣旨】 学校司書の勤務条件はどのようになっているのか。

【回答要旨】 久留米市では、平成 20 年度から専任の非常勤職員として学校司書を全校に配置しております。

現在の勤務条件は、1 日 5 時間・週 25 時間勤務で、賃金は日額 4,550 円であり、勤務日数は年間 230 日程度となっています。

また、休暇制度については、年次有給休暇を付与しております。

1 回の任用期間は 1 年以内で、2 回を限度に更新することができます。なお、任期満了された方も再度受験することが可能としています。

【質問議員】 甲斐 征七生 議員

【質問要旨】 3 教職員の超過勤務について  
(1) 実態と改善について

【質問趣旨】 教職員の超過勤務はどのような実態なのか。その実態から明らかになる課題は何か、また、その改善策をどのようにするのか。

【回答要旨】 1 久留米市の教職員の超過勤務の実態

県教育委員会が平成 26 年度に実施した「公立学校教諭の勤務実態に関する調査」によりますと、小学校は平均して 1 日あたり 2 時間、中学校は 2 時間半程度、正規の勤務時間を超えて業務に従事しており、多くの教職員が日々の業務に忙しさや負担を感じていることが明らかになっております。

久留米市におきましても、各学校における超過勤務の実態把握のために、学校ごとに超過勤務の状況を集約し毎月報告を求めています。県教育委員会の調査結果と同様の実態があり、教職員の超過勤務縮減への対応は重要な課題であると考えております。

## 2 課題解決のための改善策

各学校の校内衛生委員会や市教育委員会における総括安全衛生委員会を定期的に行い、超過勤務縮減のための方策を協議しており、その中で、定時退校日の徹底や会議の回数削減などの取組を進めております。

また、本年度から新たに、全ての中学校で毎週月曜日をノー部活デーとする業務改善の取組や、学校 I C T 環境整備の一環として推進している校務支援システムによる校務処理効率化の取組、労働安全衛生対策充実のために全教職員を対象としたストレスチェック制度を導入するなどの取組を進めております。

【質問議員】 原 学 議員

【質問要旨】 2 第3期教育改革プランについて

【質問趣旨】 ①楽しい学校づくりのためには少人数学級や正規教員率の向上が必要であるが、そのための学級編制と教職員配置の適正化の考え方、今後の方向性をどのように考えているのか。

【回答要旨】 1 学級編制及び教職員配置について

第3期久留米市教育改革プランの重点に掲げております「たのしい学校」では、久留米市の子どもたちが「学校が楽しい、仲間といるのが楽しい」と言える安全・安心な学校づくりを目指して、教員が子どもと向き合う時間を確保することや、不登校・いじめ問題への対策の充実などの取組を進めることを意図しております。

その基本となる学級編制については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」に基づき、人事権を有する県教育委員会により行われております。現在、小学校1年生は法律に基づき、2年生は加配教員の活用により、それぞれ35人以下の少人数学級となっておりますが、それ以外の学年では少人数学級は導入されておられません。

「たのしい学校」を実現し、教育の効果を高めるためには、教員の目が一人ひとりの子どもに行き届き、子どもと向き合う時間を確保できる教育環境を整備することは大変重要であると考えております。そこで、全国都市教育長協議会や中核市教育長会等を通じて、文部科学省に対して少人数学級実現に向けた要望を継続して行っていききたいと考えております。

## 2 教員配置の適正化の考え方

近年、久留米市では、正規教員の補充を上回る退職者があったため、教員定数に占める正規教員の割合は県の平均を下回っている状況にありました。この状況を改善するため、県教育委員会に対して強く要望を行い、昨年度から、初任者研修が実施可能な最大限の新規採用教員数を受け入れた結果、小中学校で、平成26年度の82.6%から本年度の84.1%まで改善しております。

正規教員には、初任者研修や教職経験5年経過教員研修などの教職経験年数に応じた計画的な研修が実施できるため、教員配置の適正化を図ることは、「たのしい学校」を実現していく人的環境の整備につながるものと考えております。

そこで、今後も、少なくとも県の平均を超える正規教員の配置がなされるよう、引き続き県教育委員会に対して強く要望していくとともに、研修をとおした教師力の向上に努めていきたいと考えております。

【質問議員】 原 学 議員

【質問要旨】 2 第3期教育改革プランについて

【質問趣旨】 ②いじめ・不登校・暴力行為を払拭するための根源対策は、どうなっているのか。

【回答要旨】 1 いじめ・不登校・暴力行為についての認識

いじめ・不登校・暴力行為などの児童生徒の問題行動等への対応については、未然防止の取り組みが大変重要であると考えております。

このため、第3期久留米市教育改革プランでは、安全・安心な学校づくりとして不登校やいじめ問題への対策をしっかり行い、自分の大切さとともに他者の大切さを認め、共感・協調できる子どもの育成を主眼としております。

具体的には、他者への思いやり、規範意識や社会のルールを守る力、よりよい人間関係を構築する力、チームで協同する力などを養うことを学校全体で取り組んで推進することとしております。

2 学校での取組について

このことを受けて、各学校においては、他者の痛みや感情を共感的に受容するための想像力や感受性を身につけ、豊かな人間関係を築くために必要な人間関係スキルの育成に取り組んでおります。

また、児童生徒がお互いに「いじめは絶対にいけない」と言える学級、学年の集団づくり、児童会によるいじめ防止のアピール活動や、生徒会による「いじめ」をテーマにした文化祭での創作劇の発表等、児童生徒が主体となって進める取り組みを展開しております。

3 家庭や地域と連携した取組について

いじめ・不登校・暴力行為などの問題行動等を未然に防ぐためには、学校が、家庭・地域と課題を共有し、連携・協力して取り組んでいくことが重要であると認識しております。

そこで具体的には、PTA活動や地域学校協議会などの場や、学校便りなど様々な場面や機会を捉え、いじめ、不登校、暴力行為等についての学校の現状と対応を、家庭はもとより地域と共有し、取組を進めるよう働きかけているところです。

今後とも、各学校において、家庭・地域と連携した取組を強化することにより、いじめ・不登校・暴力行為をなくすよう、継続して学校への指導・助言を行ってまいります。

【質問議員】 田住 和也 議員

【質問要旨】 3 小中学校の学力向上について

【質問趣旨】 学力向上の成果を高めていくには、地域学校協議会の取組が重要な役割を担うと考えているが、各学校の学力の現状と課題は十分に共有されているのか。また、地域学校協議会が主体的に学力向上に取り組めるよう必要な支援を行っていくことが不可欠ではないか。

【回答要旨】 1 地域学校協議会の現状について

市教育委員会としましても、地域学校協議会を通じて、学校と家庭・地域の三者協働による学力向上の取組をさらに進める必要性を強く感じております。

そのため、第3期久留米市教育改革プランにおいて、「久留米版コミュニティ・スクールの推進」を重点の一つに位置づけ、学生ボランティア・地域ボランティアを活用した、基礎・基本の学習内容の定着と学習習慣の形成・強化などに取り組んでいます。

また、家庭学習の定着のために、家庭学習強化週間を設定する取組や、PTAの協力のもとゲームやテレビの視聴時間を減らすスローメディアの取組、家族みんなで読書をする家読（うちどく）の取組が広がりつつあります。

しかし、地域学校協議会を通じた、生活習慣の確立、学力向上等の課題の共有及び協働体制の構築という点では、未だ地域差があることから、地域学校協議会会長等研修会の場で先進的な取組例を示すなどして浸透を図っていきたいと考えております。

平成28年第4回(12月)久留米市議会一般質問回答要旨

質 問 一 覧 (市民文化部関連)

質問議員	質 問 内 容
甲斐 征七生 議員	1 非正規雇用の待遇改善について (1) 図書館司書(任期付)について

(市民文化部関係)

**【質問議員】** 甲斐 征七生 議員

**【質問要旨】** 1 非正規雇用の待遇改善について  
(1) 図書館司書(任期付)について

**【質問趣旨】** 資格要件のある非正規雇用職員の比率、給与、勤務時間、休暇制度、任用期間、再受験、福利厚生はどのようなになっているのか。

**【回答要旨】** 図書司書の任期付非常勤職員は、現在45名を配置しておりまして、図書館職員全体の約7割という状況でございます。

賃金につきましては、月額15万3,800円で、別途、通勤手当相当額を正規職員と同様の基準で支給しております。

また、勤務時間は週35時間となっております。休暇につきましては、労働基準法に基づいた年次有給休暇を付与するとともに、夏季休暇や忌引きなどの特別休暇制度も設けているところです。

1回の任用期間は1年以内で、勤務成績が良好な場合は2回を限度に更新することができます。なお、1度任期が満了された方も再度受験することが可能としています。

また、正規職員と同様に1年に1度、健康診断を実施しているところです。

## 平成 29 年度小規模特認校入学・転入学児童募集の結果について

### 1 小規模特認校入学・転入学児童募集結果

柴刈小学校は、平成 28 年 5 月 1 日時点の児童数推計によると、平成 30 年度の 2～3 年生が複式学級編制の見込みとなったため、小規模特認校入学・転入学児童の募集を行った。その結果、合計 6 人の児童から申請があり、柴刈小学校の複式学級編制は回避される見込みである。

2 学校見学期間 9 月 20 日（火）～12 月 15 日（木）

3 申請期間 9 月 26 日（月）～12 月 16 日（金）

### 4 申請者数

学校名	見学者数	申請者数	申請者の内訳
			柴刈小

### 5 平成 29 年度柴刈小学校児童数

(人)

学年	新 1	新 2	新 3	新 4	新 5	新 6	計
児童数推計 (H28.5.1)	8	8	10	17	9	13	65
申請者	3	2	0	0	1	0	6

※ 特別支援学級児童数を除く。

※ 複式学級について

2つの学年の合計が16人以下の場合に複式学級になる。

ただし、1年生を含む場合は8人以下の場合に複式学級になる。



## 第 5 回「くるめ学」子どもサミットについて

### 1 目的

久留米の自然、産業、祭り、歴史、郷土の先人などについて知り、それを久留米のよさとしてとらえ、「ふるさと久留米」に対する誇りと愛情を育む「くるめ学」。子どもサミットを開催することで、各学校の「くるめ学」の学習成果を発表し合い、教職員に改めて「くるめ学」の趣旨や意義を周知するとともに、保護者や市民にも公開し、各学校における「くるめ学」が一層充実することを目指す。

### 2 参加者（426名）

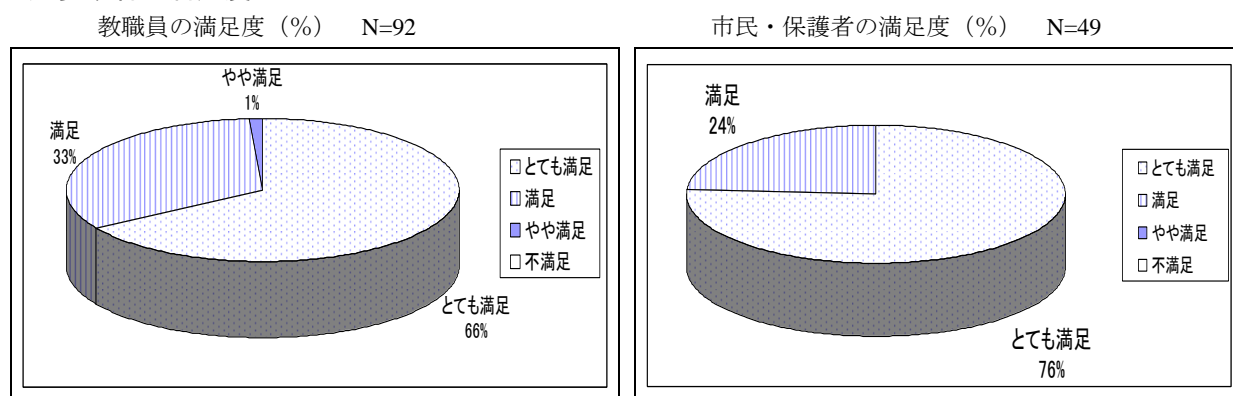
児童生徒 179名、小・中・特別支援学校の教職員 122名、来賓 8名、保護者・市民 117名

### 3 内容

13:20	開会行事
13:30	<b>発表 1</b> 船越小学校（3年） 「未来につなごう くじらの森」 <b>発表 2</b> 南薫小学校（5年） 「すてきな南薫まちづくり」 <b>発表 3</b> 鳥飼小学校（6年） 「ふるさと再発見！鳥飼が生んだポテト王」
14:45	休憩
14:25	<b>発表 4</b> 櫛原中学校（1年） 「ふるさと久留米の良さをPR動画で発信しよう」
14:45	発表校の児童生徒、指導者によるシンポジウム コーディネーター：文部科学省初等中等教育局 視学官 田村 学 氏
15:55	閉会行事

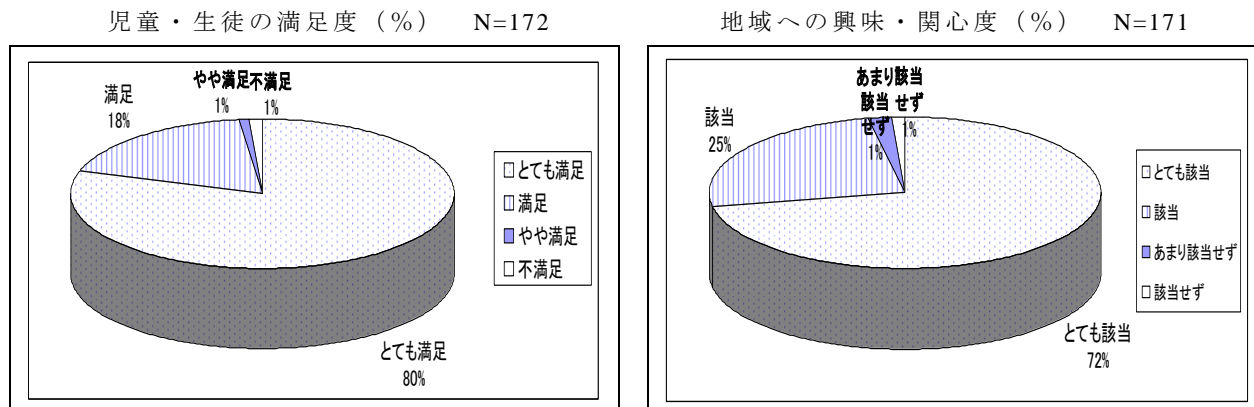
### 4 成果と課題

#### (1) 参観者の満足度について



アンケート結果から、教職員の 99%、市民・保護者の 100%が、「くるめ学」子どもサミットに「とても満足」「満足」と回答。また「このサミットが、『くるめ学』の充実に役立つか」の問いに対し、「とても役立つ」「役立つ」と 98%の教職員が回答。

## (2) 児童・生徒の満足度、地域への興味・関心度について



アンケート結果から、児童・生徒の98%が、「くるめ学」子どもサミットに参加して「とても満足」「満足」と回答。また、「くるめ学」の学習を通して、「以前よりも地域に興味・関心をもてたか」の問いに、「とても該当」「該当」と97%の児童・生徒が回答。

## (3) 感想、意見（主なもの）

### ① 教職員

- ・ どの学校も、しっかりと課題意識をもって取材・インタビューなどの活動に意欲的に取り組み、わかったこと、感じたことを発信していました。素晴らしい発表だったと思います。
- ・ 「くるめ学」の資料を活用しながら、自分たちに一番身近である自分の校区の偉人、偉業について足を運びながら調べることを通して、地域のひと・もの・ことを実感する子どもたちの姿がたくさん見られました。
- ・ 先人の偉大さや郷土の誇りに加えて、現在の久留米の町としての課題や、それを解消するための方策なども考える活動も考慮してみたいです。
- ・ シンポジウムでは子どもバージョンと教員バージョンがあり、子ども・教師双方にとって、それぞれの視点で考えることができました。
- ・ 今回のシンポジウムは、「くるめ学」に取り組むよさを田村先生が十分に引き出され、今まで以上に「くるめ学」の必要性を感じました。
- ・ シンポジウムでは、子どもたちの生の声が聞けてよかったです。発表だけではなく本音が伝わってきて、本当に久留米の町が好きなのだと思います。
- ・ 「くるめ学」を通して目指す子どもの姿を保護者や地域の方に説明し、共有する場として「社会に開かれた教育課程」として意義深いと思います。
- ・ 指導の展開をつけてもらっているのも大変よかったです。
- ・ 小学校の全員発表形式、中学校のビデオ活用など、表現方法が固定化しないように、多様な表現方法のモデルを学ぶ機会があればと思います。
- ・ サミット実施の曜日は、発表校の準備のため、水曜か金曜がよいと思います。
- ・ 学期末の時期で担任の先生も忙しい時期になるので、あと少し、早い時期がよいように思います。

### ② 来賓、市民・保護者

- ・ テーマを決めて、久留米の素晴らしさを自分たちで分かり合える活動は素晴らしいと思います。
- ・ 子どもたちの発表が大変素晴らしかった。今後も継続開催して欲しい。
- ・ 長く住んでいても知らないことがたくさんありました。次世代を担う子どもたち

にとっても、とてもよい体験だと思います。

- ・ 地域と学校・子どもたちとのつながりがよく伝わってきた。
- ・ 子どもたちが地域のよさ、学校のよさ、友達のよさを知るきっかけになっていると思います。
- ・ 子どもたちが一生懸命調べ、自分たちの言葉で発表しているところが、とてもよかったと思います。
- ・ 全員参加の発表形式、先生方の工夫・努力に感謝です。
- ・ 会場がとてもきれいでよかったです。
- ・ もっと色々な人に見て欲しいので会場が広いといいです。
- ・ 席があるので、ゆっくり座って見て聴いて欲しいと思います。
- ・ もう少し座席があればいいなあと感じました。

### ③ 児童・生徒

- ・ 今は、この勉強をして、くじらの森が船越にあるって、すごくうれしいし、美津留川もここにあってうれしいという気持ちになっています。
- ・ 「くるめ学」で使った考える力を学習でもっといかしていきたいです。
- ・ 発表の時、インタビューを受けてくれた人の思いを考えることで、久留米の人々のつながりに気付くことができた。
- ・ 違う小学校や中学校のみなさんが、自分の知らないことを詳しく、わかりやすく教えてくれたので、「くるめ学」の学習にとっても興味をもちました。
- ・ もし、友達が遠くから来ても、「ぼくの住んでいる久留米は、とてもよい所だよ。」と言えます。
- ・ 自分の知らない久留米のことを聞けて、以前よりも、久留米のことが好きになりました。
- ・ 将来、久留米のよさを伝えたり、受け継いだりするのはいの私達だから、「くるめ学」を通して知ったことを、身の回りの人などにも知らせていきたいです。
- ・ 子どもサミットに参加して、久留米の知らないことや場所のこと、久留米の人の温かさを知ることができました。
- ・ これからは久留米の行事や地域の行事に積極的に参加し、もっと久留米という町の人々のことを知り、交流を深め、久留米を好きになります。
- ・ 私はシンポジウムに参加したのですが、自分の意見を頭の中でまとめてみんなに伝えるということなどを教わり、実際に体験し、とてもよい勉強になりました。
- ・ 大人になって小さな子どもに、久留米のよさや「くるめ学」で学んだことを教えられるようになりたいと思います。
- ・ 今、自分が住んでいる久留米について、もっと色々なことを知りたいと思いました。また、こういう機会があったら積極的に活動に取り組んでいきたいです。

(4) 課題と改善に向けて

課 題	改 善 点
●発表内容、発表方法	○ 探究的、協同的な学びの過程が分かるように発表内容・方法を工夫する。 ○ サミット発表校への事前の指導を充実する。 ○ 「くるめ学」の発表ということ意識し、学習前と学習後の久留米に対する思いの変容や、学習を通しての自己の高まりについてもふれるようにする。 ○ 各校のテーマの選定理由についても発表内容に含むようにする。
●教職員の参加体制	○他の研修会の開催の動向等を考慮して、各校の参加人数を検討する。
●保護者・市民席の確保	○発表校の児童・生徒の参加人数から教職員の参加人数を調整して、保護者・市民席の確保を図る。

## 平成24～28年度 体力・運動能力、運動習慣等調査

		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(点)	シャトルラン(回)	50M走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点(点)
小学校男子 (小5)	久留米市(H24)	16.7	18.2	31.8	40.3	49.9	9.37	151.1	24.4	52.9
	久留米市(H25)	16.8	19.1	31.9	41.6	51.9	9.32	151.2	23.6	53.6
	久留米市(H26)	16.8	19.2	32.0	40.7	52.0	9.42	149.7	23.5	53.6
	久留米市(H27)	16.9	19.8	32.0	41.3	54.6	9.37	151.6	23.6	54.1
	久留米市(H28)	16.43	19.51	31.09	41.35	50.11	9.41	149.30	23.85	53.19
	福岡県(H28)	16.76	20.06	32.74	42.40	53.66	9.36	151.75	24.07	54.73
	全国(H28)	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
小学校女子 (小5)	久留米市(H24)	16.2	16.8	35.4	37.9	36.1	9.73	141.7	14.2	52.7
	久留米市(H25)	16.0	17.9	35.9	38.8	39.9	9.65	143.6	13.6	54.0
	久留米市(H26)	16.4	18.2	36.4	38.0	40.7	9.70	142.5	13.9	54.4
	久留米市(H27)	16.5	18.6	36.4	39.2	41.8	9.66	144.9	13.9	55.1
	久留米市(H28)	16.06	17.94	34.96	38.81	39.56	9.75	141.08	14.00	53.79
	福岡県(H28)	16.29	18.64	36.77	40.08	41.30	9.67	144.32	14.27	55.51
	全国(H28)	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
中学校男子 (中2)	久留米市(H24)	29.5	26.0	43.3	50.3	82.6	7.97	196.5	21.3	41.9
	久留米市(H25)	29.0	26.4	42.0	50.1	84.9	8.01	195.4	21.5	41.8
	久留米市(H26)	28.5	25.6	42.7	49.7	85.4	8.02	195.8	20.7	40.8
	久留米市(H27)	29.0	26.4	43.2	50.5	85.0	7.95	197.2	21.0	42.0
	久留米市(H28)	29.10	26.16	41.97	51.26	86.15	7.93	200.60	21.08	42.30
	福岡県(H28)	29.33	27.60	42.82	52.33	87.56	8.03	196.77	20.91	42.65
	全国(H28)	28.91	27.46	43.06	51.93	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
中学校女子 (中2)	久留米市(H24)	23.4	20.9	44.9	44.3	55.0	8.92	166.4	12.7	47.1
	久留米市(H25)	23.4	22.0	43.8	44.9	56.6	8.89	168.1	12.9	47.6
	久留米市(H26)	23.3	21.0	43.7	44.0	55.4	8.97	167.0	12.4	46.2
	久留米市(H27)	23.6	22.0	45.2	44.5	56.0	8.89	168.6	12.8	48.4
	久留米市(H28)	23.45	22.12	44.51	45.83	57.81	8.83	169.54	12.83	49.12
	福岡県(H28)	23.88	22.97	44.99	46.44	58.30	8.89	168.33	12.82	49.00
	全国(H28)	23.75	23.48	45.46	46.60	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

※網掛けは全国平均を上回っている種目

## 平成29年度 久留米市立小・中・高・特別支援学校等の入学式について

平成29年度の久留米市立小・中・高・特別支援学校等の入学式の期日が下記のとおり決定いたしましたので報告いたします。

### 記

月	日	曜	学 校 名 等
4	7	金	南筑高等学校、久留米商業高等学校、三井中央高等学校
4	10	月	中学校
4	11	火	久留米特別支援学校（小学部・中学部・高等部）
4	12	水	小学校

## 学校における体育・スポーツ活動中の事故防止の徹底について

平成29年1月13日に、大川市立川口小学校において、体育の授業中にハンドボールゴールが倒れ、児童の尊い命が失われる重大な事故が発生しました。このことを受けての市教育委員会の対応及び学校の状況は、次のとおりです。

### 1 事故防止及び安全指導の徹底について

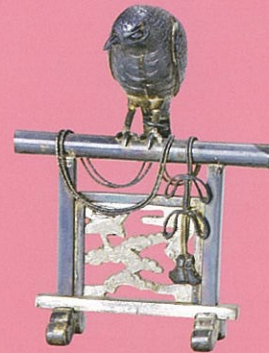
- (1) 事故発生当日に、市立小・中・高・特別支援学校に対して、サッカーゴールを含む体育備品や施設等の緊急点検、児童生徒への安全指導の徹底を通知
- (2) 1月16日に、市立小・中・高・特別支援学校に対して、サッカーゴール等の固定状況及び危険な体育備品・施設の点検状況の報告を求めるとともに、学校における体育・スポーツ活動中の事故防止の徹底について通知

### 2 現状調査の結果について

- (1) サッカーゴール、ハンドボールゴールを使用している全ての学校（改築工事中で設置していない又は使用していない学校を除く。）で、杭等による固定又は土嚢による重りの設置が行われていました。
- (2) 中学校や高等学校で使用している一般用サッカーゴールは、その材質や構造から倒れにくいものが増加していますが、その場合でも基本的には杭又は重りを設置していました。
- (3) その他の備品や施設についても、各学校の状況に応じて、安全対策が講じられています。

有馬記念館企画展

# 銀細工の ミニチュア ひな道具



平成  
29  
年  
2月4日(土)  
~  
5月8日(月)

会場 有馬記念館

(福岡県指定史跡久留米城跡内)  
〒830-0021 福岡県久留米市篠山町444





# 銀細工のミニチュアひな道具

江戸時代、久留米藩を治めた大名有馬家には、多数のひな道具が伝わっています。中でも、銀細工のひな道具は、棚、文房具、食器などの調度類や、大名行列の道具をミニチュアにした精巧なものです。本展では、これらの銀細工を100点余り展示するほか、有馬家の姫様ゆかりの人形や調度類を公開いたします。

掲載資料は有馬家蔵



会期中のイベント

## 銀粘土でシルバーアクセサリを作ろう

焼くと純銀になる銀粘土を使ってペンダントトップやチャームを作ります。

- 日時 平成29年3月4日(土)午後1時~3時30分
  - 申込方法 平成29年2月10日(金)から文化財保護課で電話またはFAXにて受付
  - 定員 30名 材料費 1,000円
  - 会場 篠山神社参集殿(有馬記念館に隣接)
- 電話:0942-30-9225 / FAX:0942-30-9714  
※先着順 / ※受付時間 土日祝日を除く 9:00~17:00



- 開館時間 午前10時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週火曜日
- 入館料 高校生以上 200円 (150円) 小中学生 100円 (50円)

※( )内は15名以上の団体料金  
※毎週土曜日は高校生以下無料  
※身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けている方及びその介護者については無料(受付でご提示ください)  
※上下階の移動には、車椅子対応のエレベーターがございます。  
※1階の多目的トイレは、車椅子でもご利用いただけます。

お問合せ

公益財団法人  
有馬記念館保存会



TEL / FAX 0942-39-8485  
http://www.arimakinenkan.or.jp  
〒830-0021 福岡県久留米市篠山町444

- アクセス ■ JR久留米駅から徒歩約15分 ■ 西鉄バス(系統番号8番)乗車「大学病院」下車、徒歩約3分 ■ 九州自動車道「久留米インター」から国道210号をJR久留米駅を目指して西進、車で約20分

関連の催し

「草野のひな祭り」 2月11日(土)~4月9日(日) 会場:久留米市草野町各所  
お問合せ: 草野歴史資料館 TEL / FAX 0942-47-4410

